

抗がん剤の副作用について

UFT/ロイコボリン・ユーゼル(リナト・テガフル・ウラシル療法)

副作用の現れる時期のめやす

現れる副作用(症状)や発現時期には個人差があります。



＜服用に関する注意＞

食事の影響を受けるので、1日3回に分けて(約8時間毎)、**食事の前後1時間を避けて**服用して下さい。

◆飲み始めてから注意する症状◆



肝障害: 休息をとっても疲れが取れない疲労があり、生活に支障が出る。

皮膚や白目が黄色や、尿色が黄褐色に変化があれば連絡!

- ・日ごろから栄養バランスのよい食事を取り、無理をせず十分な睡眠や休養をとるようにしてください。
- ・症状があらわれず、検査しないとわからないことがあります、定期的に肝機能検査を受けましょう。



悪心・嘔吐: 嘔吐の為食事や、水分摂取が出来ない時や

1日に3~5回吐いてしまう時は連絡!

- ・吐き気止めの薬で症状を和らげることができます。
- ・嘔吐がひどい場合は、水分をとって脱水予防を!
- ・食事は無理しない量で、匂いの強いもの、味の濃いもの、脂肪分の多いものは避けましょう!



口内炎:痛みのために普段の食事が食べられなくなる時や、抗がん剤投与後数日以内に下痢と同時に口内炎が現れた時は連絡！

- 口の中の痛みの他に、舌が痛い、味が分かりにくい等の症状があります。
- 予防も含めて口の中を清潔に保つことを心がけましょう。
- 口の中の乾燥も症状悪化の原因となるため、うがい等を行い保湿に努めましょう。



下痢:普段の1日の排便回数より4~6回以上増えた時や、下痢症状がある時に発熱してきた時は連絡！

- さし込むような腹痛で便が泥状や水のようになることがあります。
- 便に血液様のものが混じったらご連絡ください。
- 下痢の時は脱水症状にならないように水分(スポーツ飲料等)をこまめにとったり、お腹を冷やさないようにしましょう！
- 下痢止めの薬もありますので主治医に相談して下さい。

◎検査によってわかる副作用もそれぞれ自覚症状があります。より早く血液検査を受ける為に、気づいたら受診して下さい。

白血球減少 (感染症)

- 38℃以上の発熱
- さむけ
- せき、のどの痛み
- 排尿時の痛み、血尿、頻尿、残尿感など

貧血 (ヘモグロビン減少)

- 手足が冷たい
- 爪の色や下まぶたが白い
- 顔色が青白い
- めまい、たちくらみがする
- 疲労感、倦怠感がある
- 脈拍が増える
- 息切れ

血小板数減少

- あざがしやすい(内出血)
- 歯磨きなどによる口内の出血
- 何もせず自然と鼻血がでる
- 血便、血尿

* 感染症に対して抗生物質が予備薬として処方されている場合があります。内服のタイミングなど医師、薬剤師に確認してください。

受診に関する問い合わせは、受診するほどでもなく、薬の事や困ったことがある場合には、かかりつけ薬局にご相談下さい。